

## 匝瑛市教育委員会平成25年2月定例会会議録

匝瑛市八日市場ドーム選手控室

1 期 日 2月21日(木) 開会 午後3時35分 閉会 午後5時05分

2 出席委員 委員長 川内 恵美子  
委員 平山 延樹 委員 竹澤 実  
教育長 池田 竹四

3 出席職員 学校教育課長 吉川 昇 生涯学習課長 佐藤 和  
公民館長 今井 嘉則 図書館長 横町 昌之  
給食室長 岩澤 薫

### 4 委員長挨拶

先ほど、匝瑛市第1回教育委員会表彰状授与式が行われました。文化・科学・スポーツ方面において県や国レベルで入賞された生徒を讃える賞です。みなさんは将来の目標や希望をしっかりと持ち、晴れ晴れとした表情で受賞されました。この子どもたちが、将来、匝瑛市を担ってほしいものです。先日の新聞に閉校になった「学校の跡地を使って」という記事が載っていました。文部科学省によると、昨年度までの10年間で全国で4709校が閉校となったそうです。毎年、日本から400～500校の学校が消えています。真剣に考えなければいけないと思います。

さて、連日教師による体罰が行われるニュースが新聞に載っています。私も働きながら、子育てをしましたが、仕事が忙しく、気持ちに余裕がないと、口で子どもを動かそうとするから、怒ってばかりいて、良い行いが見つけられませんでした。学校現場も世の中が複雑になり、叱り方や説得の方法が難しくなってきました。指導者は、心に余裕をもって子どもと向き合い、根気強く穏やかに何度でも言い聞かせられると良いと思います。

本日は、報告、協議事項が各1号、議案事項が6号ございます。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

### 5 前回会議録の承認(前、1月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
竹澤 実 委員

### 6 議事録署名人選出(本、2月定例会分)

川内 恵美子 委員長  
平山 延樹 委員

## 7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館室長が1月1日から1月31日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

**竹澤委員** このところ不審者の情報が頻繁に報告され、憂慮されるところであるが不審者情報についてはメール配信がされている。私も登録しているが、現在の登録状況はどうか。

**学校教育課長** 今現在、1275名の方が匝瑳市教育委員会からのメールを受け取っている状況である。この登録は任意で強制はできない。中学を卒業するとマチコミを解約する方も多い

**竹澤委員** こういう情報が直接保護者に届けられるということは、非常に安心ができ、効果的であると考え。学校の方から、マチコミアドレスからのメール配信を少しでも多くの保護者の方が利用できるようにしていただけたら良いと考える。

**平山委員** 防災行政無線で、地域のみなさんへ子どもたちの安全確保をお願いする放送があるが、不審者情報についても防災行政無線の中へ入れてもらった方が良いのではないか。

**学校教育課長** それについては、今日現在、環境生活課、匝瑳警察と実施することで話し合いをしてもらっている。情報は警察から環境生活課へ入り、防災行政無線により伝えていくことになる。

**平山委員** 加害者へ対しての犯罪抑止と子どもたちへの注意喚起ということもある。地域のみなさんへもメールだけではなく、防災行政無線でも情報を知っていただくことが大事である。

**川内委員長** 今回はいじめの報告はないが、いじめのアンケートはどのようにしているのか。

**学校教育課長** 学校によって若干違うが、基本的にいろいろなことを聞きながらいじめに関する項目を入れているところが多い。

**川内委員長** アンケートに書いても、担任に伝わらず、スクールカウンセラーに相談しても相談内容が改善されないという話を保護者の方から相談された。アンケー

トの確認、対応の方法などに問題がないのか。

**学校教育課長** 具体的な相談内容がわからないので、もう少し詳しく情報を頂ければ対応できるのではと考える。もちろん、直接、教育委員会に相談して頂くこともできるのでお伝えしていただきたい。

**川内委員長** この件に関しては、詳しいお話を聞いてまた相談していきたいと思う。

(その他質問等はなかった。)

## 8 報告事項

報告第1号 匝瑳市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について  
(学校教育課長から説明があり、質問等はなかった。)

## 9 協議事項

協議第1号 匝瑳市教育委員会感謝状の授与について  
(生涯学習課長から説明があった。)

**平山委員** 今までに文化財関係で感謝状が授与された事例はあるのか。どのような経緯で今回は出ているのか。

**生涯学習課長** 文化財に関係する感謝状は初めてである。この感謝状については3月2日に公民館のギャラリーを会場とした催し物があり、その場で授与する予定である。保存伝承する団体の方々の励みになるということで推薦されている。感謝状の事例としては、公民館の講座を開催して講師をされた方が体調や年齢などにより辞めた場合に感謝状を授与した事例はあるが、文化財保存団体、重要文化財に関する感謝状は初めてである。

**竹澤委員** 今後、匝瑳市としてこのほかには文化財関係で感謝状に値する案件はないのか。

**教育長** 国の指定はこの1件であり、他はない。

**竹澤委員** 文化財保存団体に感謝状を贈呈することは、ひとつの前例となり、このことがひとつの基準となる。

平山委員 感謝状についての規程等はないのか。

生涯学習課長 匝瑳市顕彰規程では、第5条第1号として、「教育または学術文化に関する行政に協力し、その功績の著しいもの」という規定がある。今回はこれに当てはまるものとして感謝状の授与をすることとするものである。この団体は国の重要無形文化財として8番目に指定された。文化財すべてに感謝状を授与する訳ではなく、今回は特に国の重要文化財として指定されたということを加味して感謝状を授与することとしたい。

(その他質問等はなく、審議の結果、可決された。)

## 10 議案事項

議案第1号 匝瑳市立幼稚園の保育料等の減額及び免除に関する規則の一部を改正する規則について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、可決された。)

議案第2号 匝瑳市指定史跡の指定について(案)

(生涯学習課長から説明があり、審議の結果、可決された。)

議案第3号 匝瑳市育英資金奨学生の選考について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、可決された。)

議案第4号 匝瑳市立中学校「9か年精勤賞」受賞者の選考について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、可決された。)

議案第5号 平成25年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について(案)

(学校教育課長から説明があり、審議の結果、可決された。)

議案第6号 平成25年度教育委員会基本方針について(案)

### ○匝瑳市学校教育指導の指針

(学校教育課長から説明があった。)

竹澤委員 県、国の指針にも同じような文言があるわけだが、匝瑳市教育委員会の指針にも「思いやりのある豊かな心を育む。」という中で具体的に出ているが、その中で個性や能力を生かすということ、これまでの日本の教育は、とかく他の子どもと同じようにみんなと一緒にやるということを重点にした指導であった気がする。他の子どもと一緒にできる、そのことがいじめを生む風土になってきているのではないかと考える。違いをお互いに認め合える、一人一人の違いを認め合える、あるいは一人一人の個性を認め合える集団作りが必要である。ここには、個性や能力を生かすという言葉だけが書かれているが、やはり、一人一人は違う、それを認め合うということ、思いやりの教育の原点において指導して頂くことが、今後必要で

あると思う。他の子と同じようにできることが重要ではなく、それぞれの違いをお互いに認め合える、その個性を集団のなかで生かす、そういう教育を今後は力を入れていくべきと思っている。今回、政権が変わり、教育再生に特に力が入れられている。「心の教育」そこに力を入れ、本市においても取り組んでいていただきたい。

**平山委員** 今に始まった言葉ではなく、学校、家庭、地域と連携を深め、推進するという文言は普通に入っているわけだが、学校と保護者との連携は当然とれるわけだが、地域との連携については具体的にどのように考えているのか。

**学校教育課長** 各学校では行事を工夫してやっている。子どもたちと先生、保護者だけではなくて、運動会、合唱コンクール、文化祭などにも地域の方に来ていただいている。授業公開も広報にも載せ、地域の方に来ていただき、座談会なども開催している。毎回ということではないが、以前と比べると地域の方が子どもたちや先生方と活動をしたり、活動を見たりという機会が増えている。

**平山委員** 学校開放、運動会は以前から地域の方々に見て頂いている授業である。時代にあった新しいものが考えればあるのではないか。たとえば、防災行政無線などの子どもの安全を見守るお願いなどはあるわけだが、商店街の方において街灯をつけたり、看板をつけたり、少しでも明るくする時間を長くしたり、子どもたちの安全のために取り組むことなどが出来るのではないか。今までどおりではなく、地域の方において協力してできることも考えていったらどうであろうか。

**学校教育課長** 小学校が中心であるが、地域の方を活用するボランティアがある。登下校の交通指導や声かけ、授業の一端を担うとかいろいろな形で参加してくれる方々がいる。以前と比べ、人数的には増えておりそういった部分では地域と連携は築きあげられてきていると感じている。

**平山委員** 小さい子どもがいる家庭では、子どもが卒業しても継続して協力してくれると思うが、それがどんどん広がっていってもらえると、新しく入る保護者の方も入りやすいのではないか。

**川内委員長** 豊栄小学校では、近くの方だと思うが、お茶の先生、琴の先生が子どもたちに教えていた。学校によって講師の方は違うと思うが多くの出会いができれば良いと感じた。

**竹澤委員** 連携に関してだが、大津市のいじめに関する事件で、初めて警察が学校

現場に入り、暴力事件として捜査が行われた。今まで学校と警察の連携は学警連で行っていたが、いじめと暴力は区別して、暴力行為に対しては厳しく指導、対応していくという姿勢を学校の教職員も意識をきちんとして持っていく必要が今後あると思う。刑法上は14歳以上の少年が犯罪を犯した場合は対象となる、特に中学生には14歳以上は触法少年ではない、対象となるということをきちんと指導していく必要があると考える。

(その他質問等はなく、審議の結果、可決された。)

#### 11 その他

○その他連絡事項はなかった。